

令和2年度児童養護施設若草寮事業報告書

1 所在地	兵庫県朝来市山東町大内 547-1
2 利用定員	30人
3 職員定数	29人（常勤23名、非常勤6名）
4 職員現員	30人（常勤23名、非常勤7名）
5 事業開始	昭和31年1月10日

〔事業運営の基本〕

1 法人理念の実現を目指すと共に、ユニット化と高機能化に向けて適切な諸計画の策定と実行に努めました。事業計画については、社会的養護の推進と子どもの権利擁護、自立支援、地域支援の視点から具体的取り組みについて検討を図りました。

(1) 理念

- ① 利用者の意向を尊重し利用者が尊厳を保ち健やかに育成されるよう支援する。
- ② 利用者が能力に応じ自立した生活ができるよう支援する。
- ③ サービスの質と経営の透明性を高め経営基盤を強化する。
- ④ 地域住民及び福祉関係者と協力し地域福祉を推進する。

(2) 施設の処遇理念

- ① 私たちは子どもの権利を保障します。
- ② 私たちは子どもの成長・発達を支援します。
- ③ 私たちは子どもの自立を支援します。
- ④ 私たちは地域の子育てを支援します。

(3) 処遇の基本方針

規則正しく心地よい生活と信頼関係を基盤として、児童のひとりひとりが護られ、安心安全で健やかに生活できる環境を整え、児童の自主性を尊重しながら生活スキルの獲得と豊かな人間性及び社会性の養成をはかると共に学校、こども家庭センターその他の関係機関と連携し、個性、能力及び発達段階に応じた指導と援助を行い、児童の福祉を高め兼や健やかな成長を促し、その自立と家族再統合を支援する。

〔処遇実績〕

1 各月初日在籍児童数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1・2歳児													
年少児	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
小学生	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	114
中学生	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
高校生	11	11	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	119
その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11
計	28	28	27	29	29	29	30	30	30	29	29	28	346

2 一時保護・ショートステイ延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	104	111	66	59	48	10	1	31	10	2	23	65	530
ショート	6						28						34

3 月別入退所児童数

区分\月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所	幼児						1							1
	小学生			2									1	3
	中学生												1	1
	高校生													
	その他													
退所	幼児													
	小学生													
	中学生													
	高校生		1							1			2	4
	その他											1		1

4 生活時間のめやす

	平日		休日	備考
起床	6:30	起床	6:30～7:00	おおむね適応。一部児童は時間外 (登校渋りのため)
朝食	6:10～7:30	朝食	6:50～8:00	〃
登校	6:30～8:20	学習	9:00～	おおむね適応
おやつ	10:00～10:30	おやつ	10:00～10:30	〃
昼食	12:00～14:00	昼食	12:00～13:00	〃
下校	14:00～19:00			適応
おやつ	15:00～15:30	おやつ	15:00～15:30	一部児童は時間外
学習	15:30～	学習	15:30～	おおむね適応
入浴	16:00～21:00	入浴	16:00～21:00	一部児童は時間外
夕食	17:30～19:10	夕食	17:30～19:10	〃
就寝消灯	20:00～23:00	就寝消灯	20:00～23:00	おおむね適応。一部児童は時間外
自主学习	21:00～24:00	自主学习	21:00～24:00	おおむね適応

5 児童集団行事

	行事名	場所	参加児童職員
5月22日	野外バーベキュー	若草寮園庭	児童28職員6
8月23日	若草マーケット	若草寮	児童職員全員実習生
11月11日	日高町児童委員施設訪問	若草寮	委員7職員3
11月15日	生活安全勉強会	若草寮	小学生児童職員5
10月20日	ピザ窯づくり	睦の家	児童13職員6
10月30日	ハロウィン行事	若草寮	児童全員職員10
12月24日	さとうケーキ寄贈式	若草寮	児童職員4
12月25日	クリスマス会	若草寮	児童全員職員6
1月1日	初詣	粟鹿神社他	児童6職員2
3月19日	送別会	若草寮	児童全員職員5

その他、毎月避難訓練、児童誕生日会の実施、季節行事の実施、自立訓練体験
新型コロナウイルス感染症の流行により集団行事は中止。

6 処遇計画の策定と実施

(1) 自立支援

個別児童について、こども家庭センターの処遇指針、児童、保護者、学校、地域の関係機関の意見を取入れ、アセスメントシート、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別児童の課題達成に努めました。年長児童については自立訓練や性教育を行う機会を設けました。

(2) 特別指導

14人の年長児童等について、スポーツや創作活動等の特別指導を行い、情緒の安定と人間性・社会性の養成を図りました。

(3) 個別対応

個別対応が必要とされる児童に生活場面や創作活動での1対1の対応や個別面接を行い、愛着関係の再構築を図り、適切な支援に努めました。

(4) 心理療法

20人の対象児童にプレイセラピーやカウンセリングなどの心理療法を行い、情緒の安定、コミュニケーションやソーシャルスキルの向上、自己解決の意欲や自信の獲得を図るため適切な支援に努めました。また、発達検査等を行い、子どもの特性や効果的な支援について施設内での情報共有を図る事に努めました。

(5) 家庭支援

家庭支援を要する児童とその家庭を対象に相談・指導等を行い、子ども家庭センターとの連携を図りながら親子関係の再構築や家庭復帰に向けた支援に努めました。

(6) 里親支援

里親支援専門相談員を配置し、法人内事業所、こども家庭センター、里親会との連携を図りながら、里親家庭からの相談に応じると共に里親の研修受け入れや里親里子相互の交流・施設児童との交流を図りました。季節里親、週末里親などの家庭生活体験も計画的に実施することができました。

(7) 児童との懇談会

児童の意見や要望を取り入れ、行事計画を立て、児童の自主的、主体的な活動の機会を増やしました。

(8) 施設機能強化推進事業として、自立促進、地域交流、家庭生活体験、防災対策について計画しましたが、今年度はコロナウイルス感染症への対策として地域交流、家庭生活体験などの行事を取りやめました。

(9) 支援結果の概要

- ① 幼児3名のうち2名は、こども園に通い、元気よく、健やかに生活することができました。こども家庭センターとの連携、保護者との信頼関係の構築を図りつつ適切な対応に努めました。
- ② 小学生の多くは、施設、学校、その他の社会生活に適応し、明るく、元気よく、生活することができましたが、学習の遅れている児童も多く、特別支援学級入級や施設での

学習指導のあり方を検討し、個々の子どもの力に応じた適切な学習指導に努めました。また、発達の遅れや偏りの大きな子どもについては医療機関に受診するなど専門家の意見を求めて効果的な支援、環境設定に努めました。

- ③ 中学生は、部活動に励む児童が多く、意欲的に学校生活を送ることができました。また、学力の向上を図るため通塾をする子どももおり、子どもものの希望に応じ、支援に努めました。中学校卒業児童3名のうち、1名は公立高校普通科、1名は公立高校総合学科、1名は私立高校福祉科に進学することができました。
- ④ 高校生は、おおむね学校生活に適應することができました。資格取得やアルバイトなどの就労体験を通して自己の適性を理解し、将来の進路について見通しを持てるよう支援を行いました。しかしながら高校に通う高2児童2名は、精神的に不安定な状況から施設、学校生活の継続が困難となり、家庭引き取りとなり、年度途中で措置解除となりました。
- ⑤ 高卒後、就職自立の困難な児童1名は、障害者福祉や医療との調整を図り、受け入れ先の確定、マッチングなどの期間、約1年措置延長して自立訓練事業所に移行することになりました。
- ⑥ 中卒進学児童3名（県立八鹿高等学校、県立和田山高等学校、福知山淑徳高等学校）
- ⑦ 特別な支援の必要な児童17名（知的発達遅れ8名、情緒・軽度発達障害13名重複）
- ⑧ 継続的に通院が必要な児童13名（精神不安定5、発育の遅れ2、アレルギー8、中耳炎1、弱視1、斜視2、夜尿2、皮膚疾患6、鼻炎1、低血圧3）
- ⑨ 里子委託
- ⑨は新型コロナウイルス感染症の流行により、実施できず。

〔運営管理〕

1 人事・労務

① 職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	心理士	事務員	栄養士	調理員	非常勤	嘱託医	計
年度始	1	16	1	1	1	3	6	1	30
年度末	1	16	1	1	1	3	5	1	29

② 職員採用

月日	職種	人数	学歴	福祉施設経歴等	備考
4月1日	保育士	1	短大卒	有り	退職者の補充
4月1日	保育士	1	短大卒	なし	退職者の補充
4月1日	事務員	1	大卒	なし	前任者の異動
4月1日	調理員	1	高卒	有り	退職者の補充

③ 職員異動・変更

月日	職種	人数	異動状況
4月1日	保育士	1	睦の家より異動
4月1日	指導員	1	睦の家へ異動

④ 職員の退職

月日	職種	人数	学歴	勤務年数	退職理由	備考
10月31日	管理宿直員	1	高卒	7年	自己都合	
3月31日	指導員	1	大卒	2年	契約満了	
3月31日	調理員	1	高卒	1年	契約満了	

2 協定締結及び届出

36協定 (3月30日締結3月31日届出)

3 健康診断等

(1) 児童

健康診断		予防接種						
春夏	秋冬	インフルエンザ	日本脳炎	麻疹風疹	ヒブ	水痘	BCG	二種混合
27	29	28	8	1			2	2

通院 延 438名

(2) 職員

健康診断		腸内細菌 培養検査	ノロウイ ルス検査	予防接種		その他	
定期	その他			インフルエ ンザ			
春19秋27	2	延60	15	22			

4 消火、避難訓練

各月、年12回

5 監査等

- (1) 行政指導監査 チェックリスト提出 (8月25日)
- (2) 内部監査 監事監査 (6月6日 監事2人)
- (3) 消防査察 南但消防本部 (当面、見合わせ)
- (4) 第三者評価 年度末自己評価
- (5) 安全点検 (毎月、建物、設備、遊具等自主点検)

6 会議

(1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議
- ② 職員ミーティング
- ③ 給食会議
- ④ 児童と職員の会議
- ⑤ 処遇検討会議(自立支援計画策定会議を含む)
- ⑥ 実習生と職員との反省会議
- ⑦ 行事計画会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

県養連協議員会議、児童福祉施設関係機関会議、職員幹事会議、行事实行委員会、栄養士会議、小中育友会議、集団給食施設会議、兵庫県児童課・こども家庭センターとの会議、小学校・中学校・教育委員会との会議、自治振興会の会議、処遇関係者・機関との会議、家庭復帰評価委員会、要保護児童対策地域協議会、里親支援部会会議、学校評議員会議、県社会福祉協議会退職共済運営委員会

7 研修

(1) 職員外部研修

中堅職員研修、家庭支援研修、施設長研修、会計実務基礎研修、南但給食施設協議会研修、子どもの発達と愛着研修、

(2) 職員内部研修

事業計画・予算研修、自立支援計画実施研修、処遇技術研修、栄養給食研修、感染症対策危機管理研修、法令・諸規定・協定研修、里親研修会、保育研修

8 苦情や要望に対する対応

口頭及び意見箱に寄せられた内容について、以下の通り対応した。

受付月	内容	対応
2年4月	男子はゲーム時間があるのに女子はなぜないの。時間を決めてほしい。と意見箱に投書。	ゲーム時間は子どもの年齢や生活状況によって変えなければいけないと思うが、一定の約束の中でゲームができることを伝える。
2年11月	k君が「死ね。死ね。」と言ってきます。と意見箱に投書。	個別に注意すると共にお互いに気持ちよく過ごせるよう、人を傷つけるようなことを言わないようにそれぞれのユニットで話し合いの機会を持つことを伝える。
	スマホを持たせてほしい。スマホを新しい物に替えてほしい。と言う高校生2名の要望。	携帯機器の所有については、それぞれの子どもの使用に問題ない状況であることを確認し、親権者と相談して決定することを伝える。
	職員が何度も自分の名前を呼ぶのをやめてほしい。と言う高校生1名の訴え。	職員は子どもに気持ちに配慮した対応を心掛けるが、名前を呼ばなければならぬ時もあることを理解をしてほしいことを伝える。

【施設整備等】

1 建物・設備の整備 なし

2 1を除く器具及び備品購入、構築物整備

事務用パソコン1台	182,600円		3月
自動車(フリード)	2,578,030円		3月
自動車(プリウス)	3,453,490円		3月
防犯カメラ	185,130円		8月
空気清浄機(カルテック)11台	1,329,900円		12月
テレビ4台	737,660円		3月
クライミングボード	367,400円		3月
コロナウイルス対策ドア	133,100円		5月

3 業務委託

防虫防鼠駆除管理委託	99,000 円		年 2 回
蜘蛛の巣駆除委託	331,100 円		年 2 回
消防用設備等点検整備委託	198,800 円		各年 2 回
電気工作物保安管理業務委託	230,604 円		年 回
一般廃棄物処理委託	152,900 円		毎週 2 回
グリストラップ清掃委託	130,784 円		年 5 回

【寄付金・寄付物品、助成金】

1 寄付金

10 万円以上 1 件	200,000 円
その他 5 件	151,876 円

2 物品寄付

57 件	196,300 円
------	-----------

寄付金計 548,176 円

3 助成金

1 件	2,040,000 円～神戸やまぶき財団より施設車両購入のため
-----	---------------------------------

【地域との交流・連携】

1 保育実習生及び社会福祉援助技術実習の受入

- (1) 短大～ 湊川短大、豊岡短大
- (2) 大学～神戸医療福祉大
- (3) 実習生数 8 人延 80 日

2 里親研修の受入 里親認定前研修 10 月 16 日・17 日 1 名

3 介護体験の受入

4 こども家庭センター新任職員研修の受入

3、4 は新型コロナウイルス感染症の流行により、実施できず。

5 ボランティアとの交流・連携

新型コロナウイルス感染症の流行により、実施できず

6 学校・地域社会を通じての交流と連携

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高校及び各学校育友会との交流・連携
- (2) 地域の学童生徒の保護者家庭との交流・連携
- (3) 子育て学習センターとの交流・連携

7 関係機関・各種団体との連携

- (1) 県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、教育・保健・医療機関
- (2) 市役所、警察署、消防署、家裁、検察庁、職安、労基署、社会保険、その他の官公庁
- (3) 民生委員、虐待防止ネット、県・近畿・全国の児童養護施設協議会
- (4) 子どもの権利擁護委員会、第三者委員、運営適正化委員会
- (5) 社会福祉協議会・共同募金会、児童福祉・社会福祉財団
- (6) 但馬里親会、要保護児童対策協議会（但馬、丹波篠山各市町）

8 地域の子育て相談事業・支援事業

- (1) 一時保護
- (2) ショートステイ事業、里親レスパイト
- (3) 子育て相談事業
- (4) 子育てママ支援事業
- (5) 子ども食堂

(3)(4)(5)は新型コロナウイルス感染症の流行により、実施できず。